

夢発見！そしてその道、前進中！

三豊市立比地小学校 六年 中下 心結

私が今、必死になって取り組んでいることは、珠算。最高位の十段を目指して、日々練習している。暗算検定は十段をやっと取得でき、ホッとしたもの、珠算の方はなかなか合格点に達せず、悔しい思いをしながら努力を続けている。私は、身近な目標に向かっては頑張っているけれど、「夢をかなえる」の本に出てきたミハル、ユウジ、アツシ、みたいに、やりたい職業が言えない。私はあせった。何が向いているのだろう。何の仕事だったら興味をもって、やりたいと思うのだろう。私の夏休みの大きな課題となった。まず、今、頑張っている珠算に近い数字に関係する職業ってないのかなあと調べてみた。すると公認会計士という職業が目に入った。どんな職業なのかと気になり「マネーの仕事」という本を読んだり、インターネットで調べたりしてみた。会計を通じて、人や社会の役に立つ仕事だと分かった。社会的に証明して、

企業からの信頼を得る、責任の向こうに多くの笑顔がありそうだった。また結婚や出産を経ても子育てと両立しながら続けている女性公認会計士の方もたくさんいることも知り、更に魅力を感じた。でも、公認会計士とは三大国家資格の一つで、医者や弁護士と並ぶぐらいの難関な資格を取らなければならないそうだ。専門学校と大学のダブルスクールをして、かなり勉強して資格を取っている人もいます。私は珠算検定を通して、しんどい練習も「努力は必ず報われる」と、合格した喜びから学んだ。だから、勉強量は今の私には想像できないぐらい大変だと思っただけ、この難関資格にもチャレンジして、努力でつかんでみたいと思うようになった。

なことが分かった。日本の企業は、海外にも出ているので、英語の知識も重要だと知り、英語の勉強の必要性も感じた。そのためにはまた教材費や検定代などにも必要になってくる。さらに国家資格のため専門学校費用がかなり高いことにも驚いた。だからといって、魅力を知ったこの夢をあきらめたくない。私なりの最大の努力を今からしていきたいと思っただ。今は学習塾には通わず、自分で頑張る。今、その分のお金を資格専門学校の費用などにまわし、親の負担を少しは減らせたらいなと考えた。自分で勉強することは大変なときがあるだろうし、どの学年までできるか分からないけれど、できる限り、頑張ってみよう。経済に関する本や新聞を読んだり、珠算で十段を取って更にその腕を磨く練習を一生懸命取り組んだりしていきたいと思っただ。そして自分が勉強してきた会計の知識を生かした、やりがいを感じるようなことができる公認会計士になれるように、今できることを精一杯していきたい。

みゆのライフプラン
将来なにになりたいか? 公認会計士
その理由: 難関資格にチャレンジして取り、その知識を人や社会に役立たせ、やりがいをもって働きたいから。

夢をかなえるまでのスケジュール

Table with 4 columns: Year (西暦), Age (年齢), Dream/Action (夢をかなえるために努力すること), Expenses (努力するために、なににお金がかかりそうか). Rows include milestones from 2021 to 2039, such as '2021年 12(小6) 中学校に向けて勉強 小学校卒業 珠算検定1段合格' and '2030年 21(大3) 公認会計士試験チャレンジ'.

※最後の行は、何歳の時にどうなっていたいかな、自分で好きな年を入れてみましょう!